

令和3年度第1回四街道市子ども・子育て会議 会議録（概要）

日 時 令和3年11月18日（木）午前10時～午前11時20分  
場 所 四街道市役所5階第1・2会議室  
出席委員 伊藤会長、千脇副会長、安川委員、青柳委員、有川委員、村井委員  
利光委員、小池委員、白石委員、黄野委員、湯浅委員、蜂谷委員、笹原委員  
欠席委員 梶原委員、小谷委員  
事務局 山崎健康こども部長、川田健康こども部副参事  
子育て支援課：小和瀬課長、藤井課長補佐、能勢係長、石川主任主事  
                  宍戸主事  
保育課          ：新田課長、下山課長補佐、秋山係長、塚本主任主事  
健康増進課      ：岡田課長、河野係長、野口主査補  
指導課          ：池田主幹  
傍聴人          2人

――― 会議次第 ―――

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 健康こども部長あいさつ
- 4 議 題
  - ①四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～  
の令和2年度の評価について 【資料1・2・2別添】
  - ②市内特定教育・保育施設の改修に伴う利用定員の変更に係る意見聴取について  
【資料3】
- 5 その他
- 6 閉 会

――― 議事概要 ―――

○開会

○会長あいさつ

○健康こども部長あいさつ

○会議の公開・非公開の決定、会議録の作成について

伊藤会長 本日は、傍聴希望者がいる。議事運営に著しい支障が生じるとは認められないため、会議を公開とすることとし、会議資料についても、傍聴人に配付することとしてよろしいか。

《異議なし》

伊藤会長 会議録の発言者名は、会議の公開に関する規定により明記することとなっているため、本会議においても同様とする。

傍聴人を入室させてください。

**○議題① 四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の令和2年度の  
評価について**

- 伊藤会長 議題①「四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の令和2年度の評価について」事務局より説明をお願いする。
- 事務局 《資料1、2、2別添について事務局説明》
- 伊藤会長 ただいまの説明について、何か質問はあるか。
- 千協副会長 「こどもルームの充実」について質問したい。  
四街道小学校のルームが増えるという予定があったが、3つ目の予定地の校舎が取り壊されていると思う。その後はどうなったか。
- 事務局 四街道小学校のルームとして予定していた木造校舎については、解体されており今は利用計画がない。学校の協力が得られ、今は教室の一部を借りて運営ができています。
- 青柳委員 評価の状況について、令和2年度は新型コロナウイルスの感染の影響で「遅れている」施策が多くなっているが、令和元年度ではコロナの影響はあまりなかったと思うので、「計画どおり」がかなり高い数値だったと思う。令和元年度と比べて「遅れている」というのはどの程度遅れているのか。
- 事務局 「非常に遅れている」施策については、コロナの影響で事業自体が中止ということである。一部コロナの影響があっても、人数制限等をして開催できた事業もあるが、その事業自体が中止になってしまい施策が取り組めていないという評価になってしまった事業もあり、数値としては昨年度よりも「やや遅れている」「非常に遅れている」施策が多くなっている。
- 有川委員 「こどもルームの充実」について、こどもルームが、社会福祉協議会から民間の委託に移されるということを知っているが、どこにも載っていなかった。また改めてそのような目標が出るのか。
- 事務局 令和4年4月1日から社会福祉協議会が撤退するというので、民間の事業者へ委託する予定になっている。令和3年度以降の方向性にあえて記載はしていないが、順調に進んでおり、近々業者も決まる予定である。
- 蜂谷委員 「まちづくりへの参加促進」について、公園遊具の更新の件で「子どもの意見を取り入れる機会を設けます」とあるが、具体的にはどのような考えか。
- 事務局 最近新しい公園等を整備していないのでそういう機会はないかもしれないが、主に公園を担当している都市計画課で、遊具を更新したりする場合には、なるべく利用する人たちのご意見を聞くという形で動いている。実際どのように意見を聞いているかについては、後日確認させていただく。
- 利光委員 「一時預かり（保育所等の一時保育等）」の今後の課題・方向性について、現場の意見として聞いてもらいたい。「人材確保等の問題が考えられるため、各園の保育士確保を支援する必要があります」とあるが、保育士不足の問題は何年も前からあり、今は違った理由で保育士不足・保育者の離職が出ていると思

う。保育園は、元々は福祉というところから始まったと思うが、今は子ども云々ではなく保護者の方のサービスを重視しているところが多くあり、その点で保育園でも幼稚園でも運営に困っていると思う。保護者の意見が多様化しており、その対応に追われて、新人職員がせつかく職についても離職に繋がっている。それならば一時保育を閉めて、他の0歳児や1歳児の方を確保したほうが施設側も運営が成り立つ。そのような面で閉鎖せざるを得ない状況になっていると思うので、これを支援するといっても難しいと思う。

笹原委員 資料を全体的に読ませてもらい、今0歳児もしくは保育園に通っている子どもたちが成長した時に、四街道がその子達にとってどんな街になっていたらいいのかということが一番感じた。高校・大学を出たら四街道に戻ってきたいと思えるような魅力の発信が弱いのではないかな。  
また、各課で共有して相談体制にあたられており、素晴らしいと思った。訪問もしているということで、四街道の様々な課の方は連携して頑張っているなという印象を受けた。

白石委員 『子育て情報ブックすくすく』の保育園等の一覧を拝見し、保育園の数が非常に増えたなと感じた。四街道市の健康こども部長をはじめ、皆さんご尽力された結果であり、感謝申し上げます。また、上の娘が今こどもルームに通っているが、そちらも機動的に各小学校に増えており、父母代表として感謝申し上げます。利光委員からもあったが、保護者として、おっしゃる通り保育園等をサービス業と捉えてしまっているところがある。岸田政権で看護師と保育士の報酬を上げるといった話もあるように、四街道市としても、保育園や幼稚園等にももう少し予算付けをし、先生たちのモチベーションを上げていくのも、子育て日本一の市を作っていく上で重要ではないかと思う。

千脇副会長 前期に『四街道市みんなが笑顔のまち子ども条例パンフレット』を作っていた。子どもたちに配られたのはいいが、あまり伝わっていないのではないかなというご意見が多数上がっている。子どもへの啓発とあるが、どのような啓発活動を考えているか。みんなで地域づくりセンターのブログにご意見があがっているので読んで検討していただければと思う。

また、「子どもの貧困対策の推進」について、6課の方々関わって対策をしているが、こども食堂についての記載が一つもなかった。市内でも、こども食堂に関わる活動をされている団体がいくつかあると思う。そういったところと繋がって子どもの貧困に対応していくということを検討していただけないか。

事務局 子ども条例の周知啓発について、今年度はHP・市政だより等で周知をした。今後については、ブログ等も拝見させていただき検討させていただく。  
こども食堂については、計画の貧困対策の中には載っていないが、各関係機関を洗い出して組織体制を図っていく。コラボ四街道担当の政策推進課も担当課になると考えているので、そちらで検討させていただく。

有川委員 四中地区社協でこども食堂を立ち上げたが、コロナの影響で活動できなくなってしまった。そこで、民生委員を通して、ひとり親家庭へレトルト食品やお菓

子の詰め合わせを届けてもらった。また、塾に行けない子どもたちには、元先生などがボランティアで教えてくれていたので、早く再開できるといい。保健推進員もしているが、幼児検診の待ち時間に実施していた食育劇が対面できなくなってしまった。その代わり、ビデオを撮影し、直接触れ合わなくてもビデオを通して食育の大切さを訴えることができた。コロナの状況でも見方を変えることが大事だと思う。

笹原委員 小中学校のトイレの洋式化は何%まで上がっているか。  
事務局 担当課ではないので詳しい話はできないが、子どもたちにとっても洋式は慣れていることもあり、使いやすさがある。和式のトイレは残しつつも、順次洋式化を進めている。

### ○議題② 市内特定教育・保育施設の改修に伴う利用定員の変更に係る意見聴取について

伊藤会長 議題②「市内特定教育・保育施設の改修に伴う利用定員の変更に係る意見聴取について」事務局より説明をお願いします。

事務局 《資料3について事務局説明》

伊藤会長 ただいまの説明について、何か質問はあるか。

千協副会長 保育園にかかる費用の分をお金で支給できたなら、ご家庭で子どもを育てられる環境を保てるご家庭もあると思う。そもそも論だが、働かないといけないから保育園を作ってほしいというお金と、家庭で育てたい方に支援するためのお金は違うのか。

事務局 幼児教育・保育の無償化というものが始まって、3歳以上の保育が基本的には無料になり、国の制度として無償化の流れはできていると思う。働かなくていいような給付をするというような議論は、今のところ国においてもないので、今の制度を引き続きやっていくということになる。

千協副会長 地方自治体から発信するというお考えはないのか。

事務局 現状では、費用的なところも非常に課題になるため、難しいと思う。

小池委員 10名定員を増やすということは、特に問題ないと思う。ただ、保育園や幼稚園を増やしていく傾向は、少子化の中でもずっと続いていく計画なのか。保育士や幼稚園教諭は、なり手がすごく不足しており、やはり人手不足が深刻な問題だと思う。四街道では現在、潜在保育士や幼稚園の先生の登録制度のようなものはあるのか。

事務局 今後も園を増やしていくのかについて、四街道市は子どもの数がまだ増加しており、同様に子どもの数に対して園に申し込みをされる方の比率も増えてきている。それに関して今後の見込みを出して、需要がある間は整備を計画していきたいと思っている。

潜在保育者の登録制度のようなものについては、市では実施していない。県の社会福祉協議会が、保育士の人材育成センターのようなところで、保育士個人と施設が登録し、それらを繋ぐ事業をしている。

伊藤会長 市内特定教育・保育施設の改修に伴う利用定員の変更については、事務局案の

とおり承認することとしてよろしいか。

《異議なし》

伊藤会長 市内特定教育・保育施設の改修に伴う利用定員の変更については、事務局案を承認する。

### ○その他

伊藤会長 事務局より何かあるか。

事務局 今後の会議の開催予定について説明する。次回の会議は令和4年1月27日を予定している。現時点での想定であるため、今後の審議事項の発生や審議状況、新型コロナウイルス感染症の影響次第で変更となることも想定される。開催の1ヵ月前には皆様に通知を送るためお願いしたい。

また、現委員の皆様の任期については、令和4年4月30日までとなっていることから、現在、公募委員の募集を12月3日（金）までの日程で行っている。現任の3名には、引き続きの応募について検討をお願いします。併せて、皆様のお知り合い等で適任の方などいれば、応募いただけるようお声掛けいただくと助かる。また、各関係団体様にも1月以降に、順次推薦の依頼をするため、よろしく願います。

伊藤会長 最後に全体を通して何かあるか。

《意見なし》

### ○閉会

伊藤会長 以上で本日の子ども・子育て会議を終了する。